

事前評価調書

I 事業概要															
事業名	治山事業（予防治山事業）														
地区名	しんしろししもよしだあざこあでら 新城市下吉田字小阿寺														
事業箇所	しんしろししもよしだあざこあでら 新城市下吉田字小阿寺 地内														
事業のあらまし	当該溪流には溪岸侵食による不安定土砂の堆積及び流出が見られ、山地災害の危険性が高い。このため、地元からの要望と荒廃現況を勘案して、谷止工2個を実施することにより山地災害を防止する。														
事業目標	【達成（主要）目標】 谷止工2個を設置し、荒廃溪流の保全を図る。														
事業費	事業費	内訳													
	47百万円	■工事費 46百万円、■用補費 1百万円													
事業期間	採択予定年度	2020年度	着工予定年度	2021年度	完成予定年度	2021年度									
事業内容	谷止工2個														
II 評価															
①事業の必要性	1) 必要性	当該地域では溪流及び山腹の荒廃が進み、山地災害の発生の恐れがある。地元からは治山事業による整備が強く望まれている。 また、「費用便益分析マニュアル」に基づき算定したB/Cは8.75で1.0を越えており、効果が期待出来る。													
	判定	A	A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 山地災害の未然防止を図る上で、当該地域における事業実施が必要であるため。												
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>2021</td> </tr> <tr> <td>工種区分</td> <td>工事(谷止工)</td> <td>←————→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(百万円)</td> <td>47</td> </tr> </table>							2021	工種区分	工事(谷止工)	←————→	事業費(百万円)		47
			2021												
	工種区分	工事(谷止工)	←————→												
事業費(百万円)		47													
2) 地元の合意形成	地元区長を通じて所有者から要望が出されており、地元への説明を経て地元の了解が得られている。														
判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。 【理由】 事業計画に無理はなく、地元の了解も得られているため、事業の実効性は期待出来る。													
III 対応方針															
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。														
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容															
■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 【主な評価内容】 谷止工周辺の溪流の状況から事業効果を評価する。															